

● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により行います。 (当社ホームページURL http://www.manac-inc.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合、日本経済新聞に掲載する方法で行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部



〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地
TEL.084-954-3330 FAX.084-957-4370
<http://www.manac-inc.co.jp/>

マナックは、化学をベースに、技術と知識の融合により
先端技術産業が求める機能を開発・提供する

研究開発型モノづくり会社です。



第70期中間のご報告

株主通信

2014年4月1日▶2014年9月30日



証券コード: 4364



代表取締役社長 杉之原 祥二

ごあいさつ

第70期中間期株主通信をお届けするにあたり、株主様をはじめとする皆様の日頃のご支援とご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

当上半期の経営環境は、4月からの消費税の引上げと8月からの急激な円安、さらに政府の積極的な経済政策や、金融政策による株価上昇などもあり、企業においては、様々な対応を迫られるものとなりました。

その中で、当社を取り巻く化学業界におきましては、IT産業関連製品、家電製品の基礎原料となる素材関連材料は、韓国、中国等の需要減退などの影響により、厳しい状況で推移いたしました。

当社は技術開発による利益向上を目指し、新規分野への参入も視野に入れ取組んでまいりましたが、国内需要の減少や円安による原材料、燃料等のコスト増に加え、ユーザーによる新薬開発中止の影響を受け、厳しい業績となりました。

現在、当社では、国際競争力向上に向けて、中国の南京化学工業園區に新工場建設の準備を進めております。グローバル・マナックの拠点となる新工場を武器としてアジアをはじめとした国際市場へ積極的にチャレンジしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層の当社グループの事業活動にご理解を賜り、さらなるご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

企業理念

『スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献する』

～進化する技術、そして進化する人間をめざして

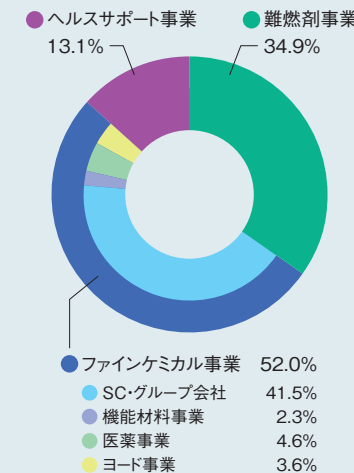
経営理念

- 1 「地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信する会社」をめざす
- 2 英知と勇気をもって能力を最高に発揮し、企業価値の最大化をめざす
- 3 明日の未来社会から注目される会社をめざし、常に『革新』

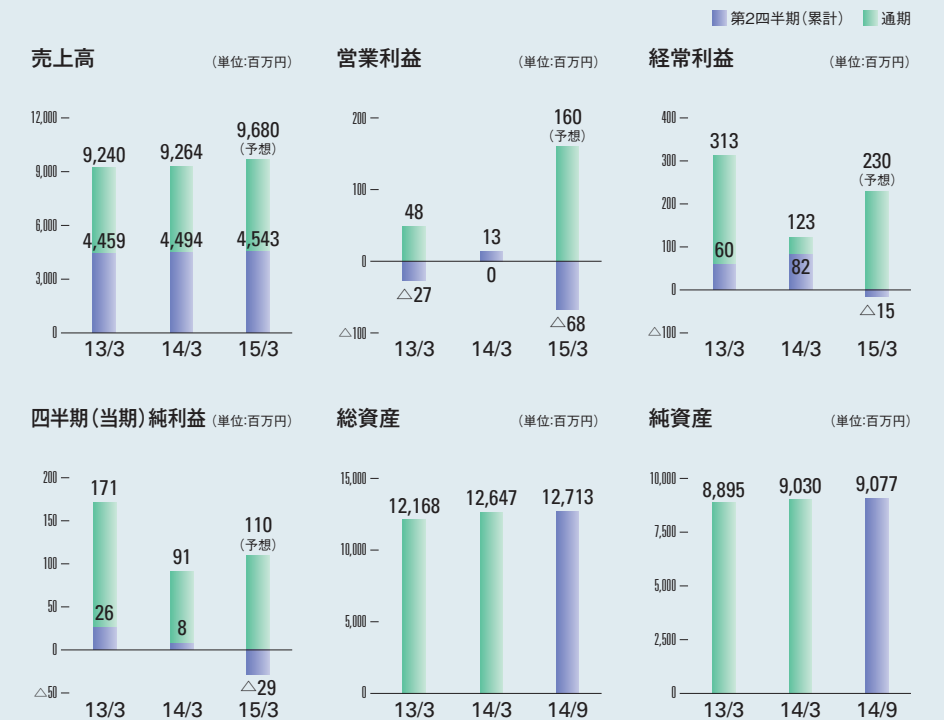
第70期中間期における、当社グループの売上高は4,543百万円(前年同四半期比+48百万円)、営業損失は68百万円(前年同四半期は営業利益13百万円)、経常損失は15百万円(前年同四半期は経常利益82百万円)、四半期純損失は29百万円(前年同四半期は四半期純利益8百万円)となりました。

セグメント別売上高につきましては、ファインケミカル事業は2,362百万円(前年同四半期比△101百万円)、難燃剤事業は1,587百万円(前年同四半期比+96百万円)、ヘルスサポート事業は593百万円(前年同四半期比+53百万円)となりました。

● 事業別売上高構成比



● 連結財務ハイライト



環境への取組み

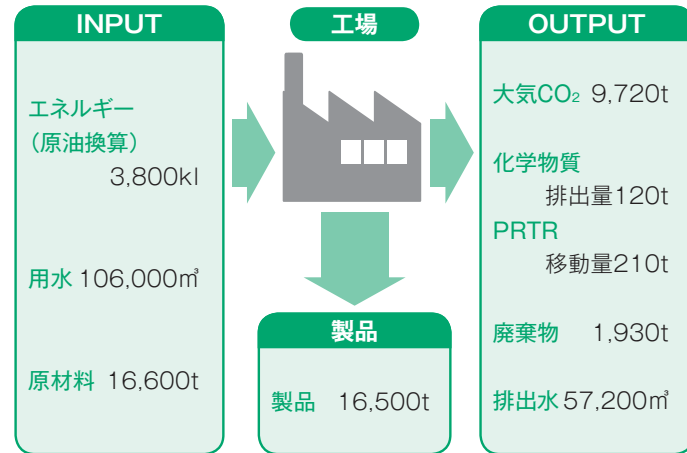
地球環境・人間社会に対して 信頼と安全・安心・感動を発信する会社へ。

自然の恵みから生まれたマナックにとって、地球環境を守ることは使命のひとつです。

持続可能な社会を目指すための様々な取組みをご紹介します。

マテリアルフロー

事業活動に伴い投入する資源やエネルギー、排出物質を定量的に把握し、環境負荷の低減や地球温暖化防止対策に役立てています。今後とも省資源、省エネルギー対策とともに、廃棄物の削減、再資源化を推進していきます。



環境マネジメントシステム

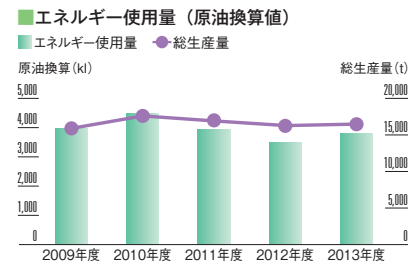
2003年10月にISO14001の認証を取得して以来10年、「マナック環境方針」に沿った環境への取組み計画の策定と推進を継続しています。この間、2006年に2004年版への移行や3年毎の認証の更新も行い、認証を維持継続しています。



省エネルギー

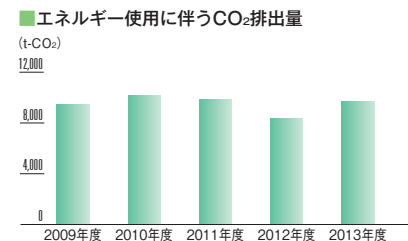
当社はエネルギー管理「特定事業者」として、生産のほとんどを受け持つ「福山工場」(「第1種指定工場」)を中心に、全社において省エネルギーを推進しています。熱源であるボイラーの燃料(都市ガス)削減、駆動電力削減及び事務/生活系での電力削減に継続して取り組んでいます。

また2011年以降は、最大需用電力(デマンド)のピークカットを重点課題とする『節電の夏』に注力しており2013年度末の契約電力は2011年9月比で6%の低減となっています。



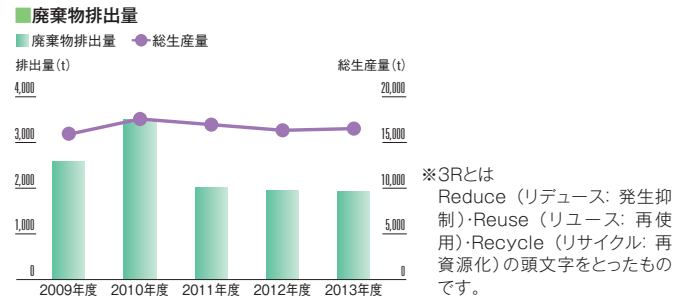
地球温暖化防止

当社の温暖化ガス排出のほとんどはエネルギー起因CO₂です。デマンド監視システムにより、目標の電力使用量を超えないように従業員全員で節電に取り組んでいます。また、鉄道輸送の活用や廃棄物発生抑制(委託先での温暖化ガスの削減に寄与)にも取り組んでいます。



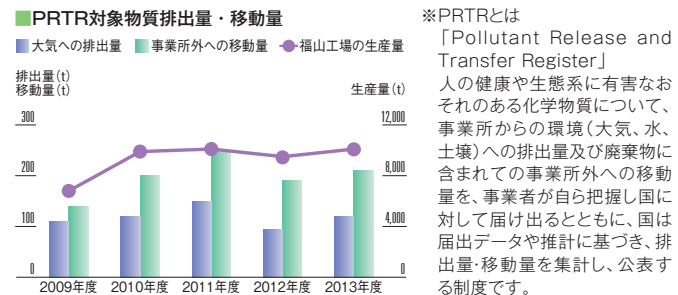
廃棄物削減

当社では、廃棄物の分別回収、溶媒のリサイクル等、廃棄物の適正な処理と再資源化に努めています。また、廃棄物の処理に関しては優良認定処理業者を選択し、3R*の推進を実施して、燃料やセメント原料への転化を行い、循環型社会の構築に貢献しています。



化学物質の排出管理

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR*法)に基づき、その対象事業所となる福山工場においては、化学物質の環境への排出量・移動量を把握しています。ISO14001システムとも連動し、環境目標活動として種々の取組みを行い、排出、移動の削減に努め、対象物質を取扱う製品の生産量あたりの排出量・移動量は減少していますが、2013年度は対象物質を取扱う製品の生産数量に占める割合が増加したため、排出量・移動量も増加しました。



環境と安心への配慮

■環境配慮型製品「AdBlue (アドブルー)」

ガソリン車に比べて燃費がよく、省エネルギー、CO₂削減の観点からディーゼルエンジンが注目されています。



アドブルー専用ローリー

特に、道路輸送の主役であるトラックのディーゼルエンジンに対する環境規制は、世界的に高度な処理技術が要求されています。この対策として、国内トラックメーカー各社は窒素酸化物(NOx)を無害な水と窒素に分解する尿素選択還元方式(SCR)を導入しており、現在、需要は順調に拡大しています。

当社のAdBlueはドイツ自動車工業会(VDA)の厳しい品質規格に適合の後、ライセンスを取得し、環境配慮型製品として提供しています。

■抗菌剤の供給「E-tak (イータック)」

Etak (イータック) は、長時間抗菌、抗ウイルス作用を持続させることができる特許成分で、広島大学大学院の二川浩樹教授と当社が共同開発しました。大腸菌、黄色ブドウ球菌、MRSA、インフルエンザウイルスなどに効果を発揮し、利用範囲は多岐にわたります。



マスク用スプレー

これまでも抗ウイルス機能繊維CLEANSE®(クラボウ製品)をはじめ、マスク用スプレー「クリスタルヴェール®マスク抗菌24」(イーザイ製品)などが開発・販売され、お客様のニーズに広くお応えしております。

● 株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数	23,200,000株
発行済株式総数	8,625,000株
株主数	1,237名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
東ソー株式会社	1,608	20.0
一般財団法人松永財団	916	11.4
三菱製紙販売株式会社	607	7.6
株式会社広島銀行	322	4.0
マナック社員持株会	315	3.9
杉之原 祥二	254	3.2
合同資源産業株式会社	200	2.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	139	1.7
光和物産株式会社	121	1.5
日本生命保険相互会社	118	1.5

(注) 1. 上記のほか、当社保有の自己株式が591千株あります。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

● 配当関連情報

当社の株主還元方針

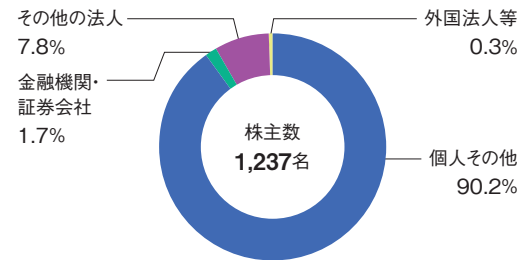
利益配分につきましては、長期的観点から事業収益の拡大と株主資本純利益率の向上を図るとともに、自己資本の充実と財務体質強化、株主の皆様への長期的、安定的な配当水準の維持に努めながら、利益配当額を決定していく予定です。

当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。これらの剰余金の配当の決定機関は、中間配当については、取締役会、期末配当については、株主総会であります。

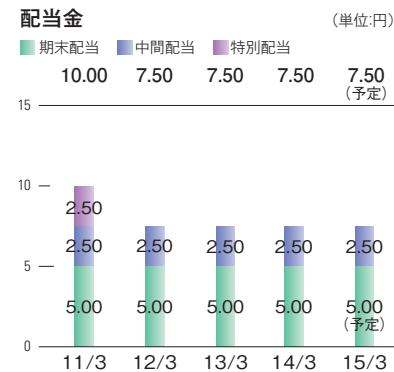
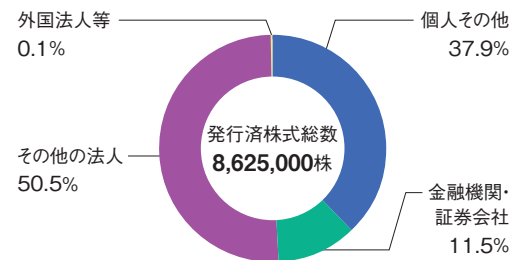
第70期の配当金

第70期の中間配当金につきましては、1株当たり2円50銭とすることに決定いたしました。
第70期の年間配当につきましては、期末配当金として予定している5円を加え、7円50銭を予定しております。
内部留保資金につきましては、お客様のニーズに応える新製品・新技術開発のために必要な投資が出来るよう備えてまいり所存であります。

● 株主数別分布状況



● 株式数別分布状況



● 会社概要 (2014年9月30日現在)

社名	マナック株式会社 MANAC INCORPORATED
本社所在地	〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地
設立	1948年(昭和23年)5月
資本金	17億5,750万円
従業員数	177名(グループ従業員数302名)
事業内容	難燃剤、医薬品、食品添加物、写真感光材料、高機能性材料、電子材料、染料、香料など様々な分野の先端技術産業に原材料を供給

● 役員 (2014年9月30日現在)

代表取締役社長	杉之原 祥二
代表取締役専務	朱山 秀雄
常務取締役	村田 耕也
取締役	北村 彰秀
取締役	石井 潔
取締役	峰重 克己
取締役	千種 琢也
常勤監査役	日野 智章
監査役	内海 康仁
監査役	本田 祐二

(注) 1. 取締役 峰重克己氏及び千種琢也氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 内海康仁氏及び本田祐二氏は、社外監査役であります。

● 主な事業所

本社	〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地 TEL: 084-954-3330 FAX: 084-957-4370
東京支社	〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目8番4号 日本橋さくら通りビル6階 TEL: 03-3242-2561 FAX: 03-3242-2564
大阪営業所	〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目5番22号 オリックス淀屋橋ビル3階 TEL: 06-6227-5988 FAX: 06-6227-5978
福山工場	〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地 TEL: 084-954-3330 FAX: 084-953-8523
郷分事業所	〒720-0093 広島県福山市郷分町950番地の1 TEL: 084-951-2501 FAX: 084-951-2502

● 子会社

社名	八幸通商株式会社 [100%出資子会社で南京八幸業業科技有限公司(中国・南京市)も連結子会社としております。]
本社	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2丁目7番6号 晴花ビル3階
事業内容	化学薬品の製造、販売
社名	エムシーサービス株式会社
本社	〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地
事業内容	倉庫賃貸、事務業務の受託

● 関連会社

社名	ヨード・ファインケム株式会社
本社	〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目12番6号 東信商事ビル7階
事業内容	ヨード化合物の製造、販売